

II 平成29年度 埼玉県がん教育指導者研修会

文部科学省委託事業「がんの教育総合支援事業」

平成29年度 埼玉県がん教育指導者研修会開催要項

1 趣 旨

日本人の死亡原因として最も多いがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分であり課題であると指摘されている。

この課題解決のためには、学校教育を通じてがんについて学ぶことにより、健康に対する関心を持ち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるようにすることが必要である。

学校におけるがんに関する指導の充実を図るため、その必要性を十分理解し、学習指導の実践研究、普及啓発が行われるよう研修会を開催する。

2 開催日時 平成29年9月5日（火） 午後1時20分から午後4時40分
（午後1時00分から受付）

3 会 場 さいたま市民会館うらわ
〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-10-22
電話 048-822-7101

4 主 催 埼玉県教育委員会

5 参加対象者

- (1) 公立小・中・高・特別支援学校の管理職及び教職員
（主幹教諭、体育・保健体育科担当教諭、養護教諭、保健主事 等）
- (2) 市町村教育委員会の指導主事 等

6 日 程

13:00	13:20	13:25	13:50	14:50	15:00	16:30	16:40
受 付	開 会 行 事	行政説明 25分	実践事例発表 60分	休憩	講 演 90分	質 疑 応 答	閉 会 行 事

7 内 容

(1) 行政説明

- ・ 県教育局県立学校部保健体育課 指導主事 武田 直美

(2) 実践事例発表

- ・ 小学校指導事例 第6学年 特別活動（保健指導）
「共に生きる命」カ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成
鴻巣市立鴻巣南小学校 堀 祐介 教 諭
- ・ 中学校指導事例 第3学年 保健体育（保健分野）
「健康な生活と疾病の予防」イ 生活行動・生活習慣と健康
三郷市立早稲田中学校 菅野 恒典 主幹教諭
- ・ 高等学校指導事例 第1学年 保健体育（科目保健）
「現代社会と健康」イ 健康の保持増進と疾病の予防
前 県立日高高等学校（現 県立川越南高等学校）
根岸 怜子 教 諭

(3) 講 演

「学校におけるがん教育の実際」

- ・ 講 師 日本女子体育大学 スポーツ健康学科 教授
博士（医学） 助友 裕子 氏

講演

学校におけるがん教育の実際




学校におけるがん教育の実際

ーヘルスプロモーション実践事例から学ぶー

平成29年度埼玉県がん教育指導者研修会

助友裕子
日本女子体育大学
スポーツ健康学科 教授
suketomo.hiroko@iwcp.e.ac.jp
JWCPE 日本女子体育大学
Japan Women's College of Physical Education



文部科学省
新学習指導要領「生きる力」


新学習指導要領(平成29年3月公示)

中学校 保健体育科(保健分野)【内容の取扱い】

(3) 内容の(1)のア(イ)及びウ(ウ)については、・・・
(中略)・・・にも配慮するものとする。また、がんについても取り扱うものとする。

内容の(1)のア(イ)及びウ(ウ)

(1) 健康な生活と疾病の予防
ア(イ) 運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活
ウ(ウ) 生活習慣病など



文部科学省
保健の見方・考え方

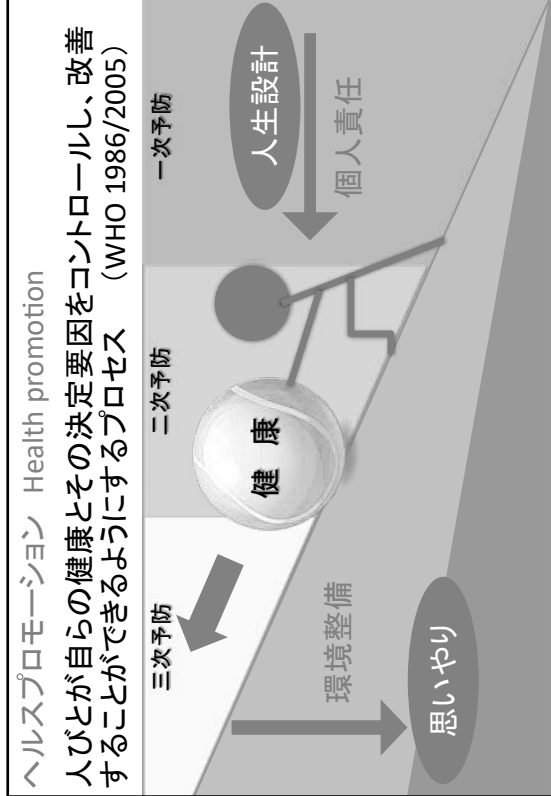
「保健の見方・考え方」については、疾病や傷害を防止するとともに、生活の質や生きがいを重視した健康に関する観点を踏まえ、「個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること」と整理することができる。

資質・能力を育成する学びの過程

保健については、健康に関心をもち、自他の健康の保持増進や回復を目指して、疾病等のリスクを減らしたり、生活の質を高めたりすることができるよう、知識の指導に偏ることなく、三つの資質・能力をバランスよく育むことができる学習過程を工夫し、充実を図る。また、健康課題に関する課題解決的な学習過程や、主体的・協働的な学習過程を工夫し、充実を図る。

ヘルスプロモーション Health promotion

人びとが自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセス (WHO 1986/2005)



三次予防 二次予防 一次予防

環境整備

健康

人生設計

個人責任

思いやり

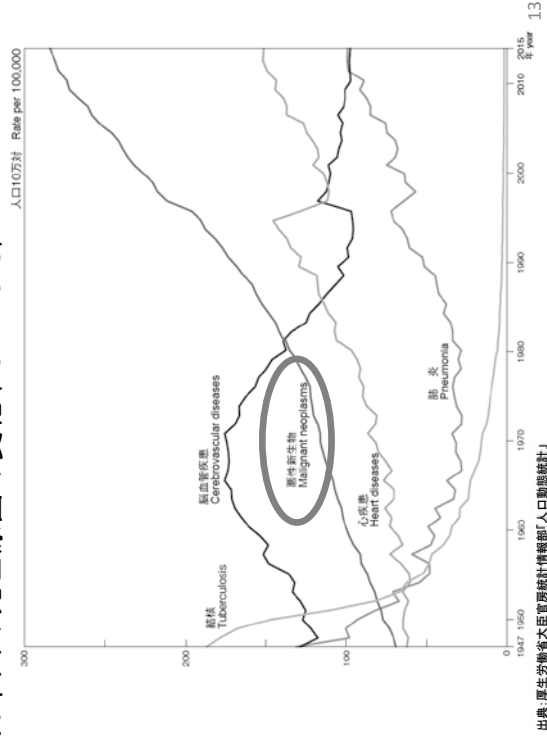
WHO, Ottawa charter for Health Promotion, 1986 / Bangkok charter for Health Promotion, 2005. (図は高内 1997を改編)

話の内容

- 日本のがんの現状
- がんとは何か
- がん教育の背景と課題
- がん教育の実践事例
- がん教育の効果

10

日本人の死亡原因の変化(1947-2015)



13

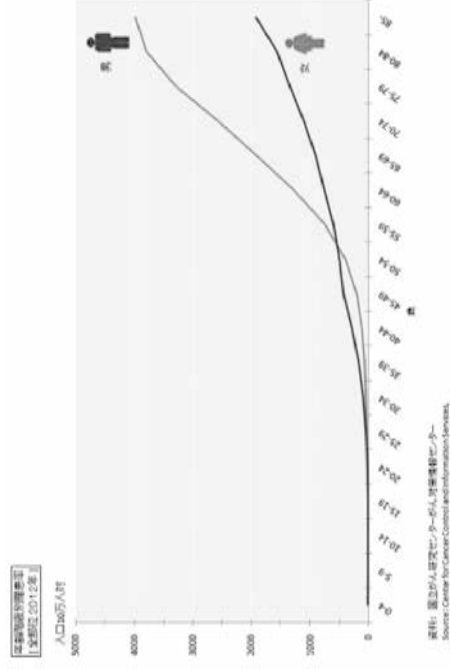
日本のがん統計

がんは死亡原因の第1位
 がん死亡者数 36万8103件(2014年)
「日本人男性の(4)人に1人、日本人女性の(6)人に1人が、がんで死亡」
 がんの生涯リスクは男性63%、女性47%
「日本人の(2)人に1人ががんになる」
 継続的な医療を受けているがん患者は約152万人

国立がん研究センターがん対策情報センター

16

がん罹患率～年齢による変化(全がん)



17

日本のがん統計

■どの部位のがん死亡が多いか(2014年)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女性	大腸	肺	胃	膵臓	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

■どの部位のがん罹患が多いか(2012年推計)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	胃	大腸	肺	前立腺	肝臓
女性	乳房	大腸	胃	子宮	子宮
男女計	大腸	胃	肺	乳房	前立腺

厚生労働省
人口動態統計
によって把握

全国がん登録※
によって把握

※2012年までは都道府県単位、
現在がん登録による推計値

国立がん研究センターがん対策情報センター

19

日本人のためのがん予防法

- ①たばこは吸わない。
他人のたばこの煙を避ける。
- ②飲むなら、節度のある飲酒をする。
- ③食事は偏らずバランスよくとる。
- ④日常生活を活動的に過ごす。
- ⑤体形は、適正な範囲に。
(太りすぎない、やせすぎない。)
- ⑥肝炎ウイルス感染検査と適切な措置を。
機会があればピロリ菌検査を。



国立がん研究センターがん研究開発部
「科学的根拠に基づいたがん予防法に関する研究」研究班作成

22

がん教育を受けた児童の意見

埼玉大学教育学部附属小学校6年生 保健学習

- つかむ過程(関心・意欲・態度)

- ①「夢の実る木」のことは健康
- ②健康を支えてくれた人達

- もとめる過程

(知識・理解)

- ③行政(国)の話
- ④市町村の保健活動

- ひろげる過程

(思考・判断)

- ⑤「未来予想図」→
- ⑥本時のまとめ

目標せ！夢の実る木
「夢の実る木」の成長を、目標を立てて進めよう！

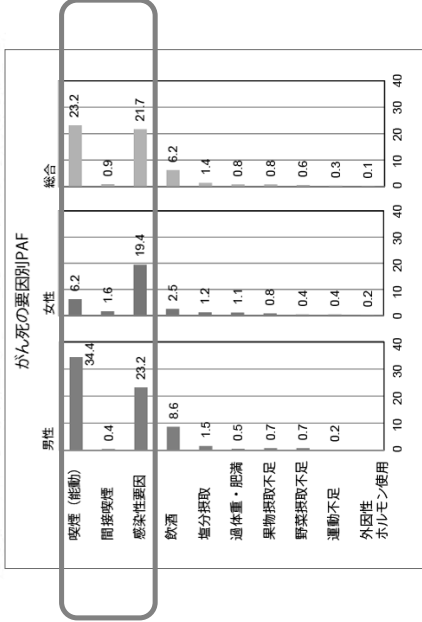
①「夢の実る木」のことは健康
②健康を支えてくれた人達

③行政(国)の話
④市町村の保健活動

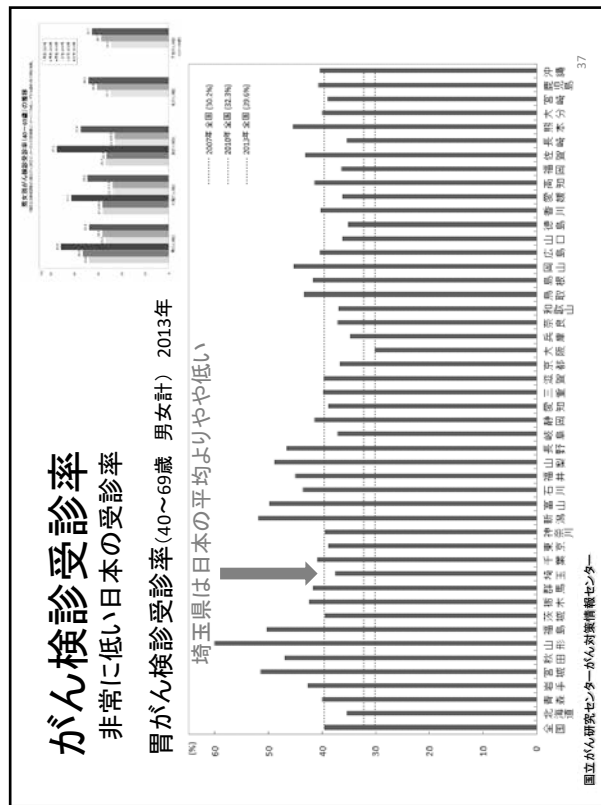
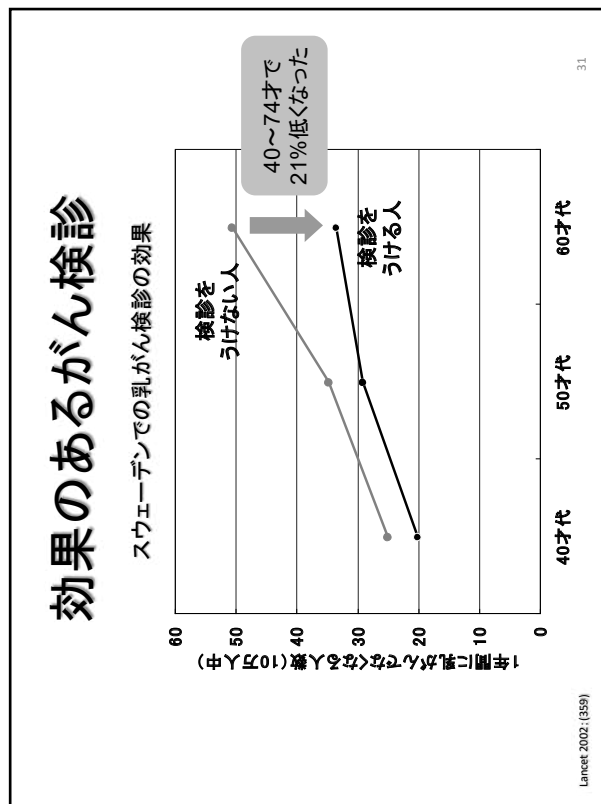
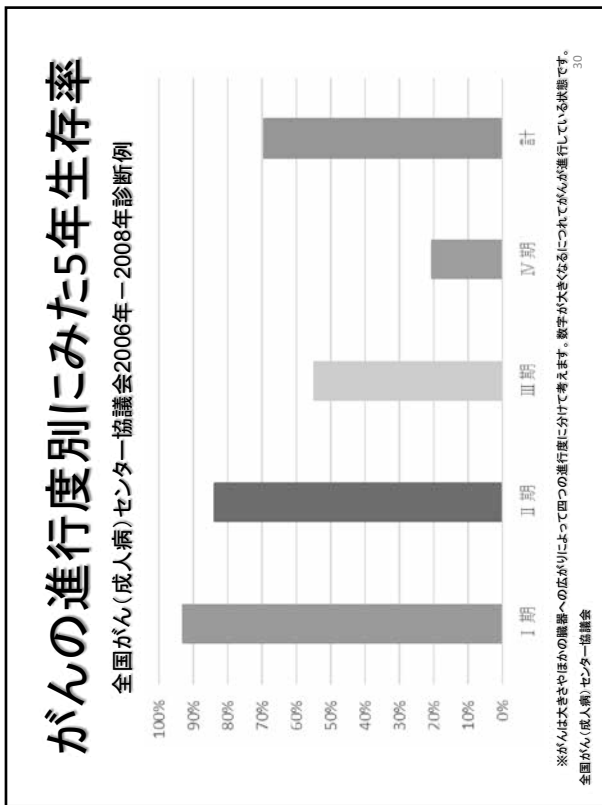
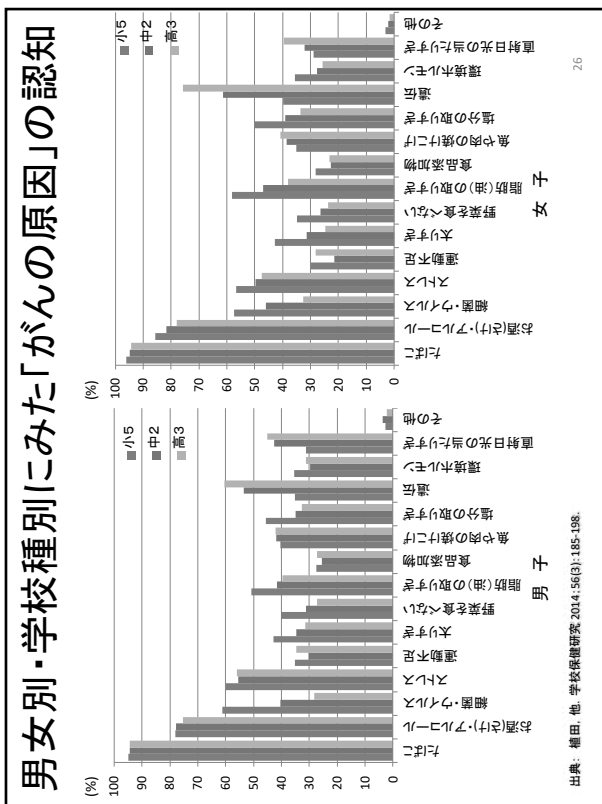
⑤「未来予想図」→
⑥本時のまとめ

久保田 他 学校保健研究 2010; 52(suppl):378.

日本におけるがんの原因 男性では喫煙、女性では感染性因子



Inoue M et al. Annals Of Oncology 2012; 23(9): 1382-9
「生活習慣改善によるがん予防法の開発と評価」研究班ホームページ http://epi.ncj.go.jp/can_gm/evaluation/2832.html



厚生労働省のがん対策

- 昭和37年 国立がんセンター 設置
- 昭和56年 悪性新生物が死亡原因の第1位となる
- 昭和59年 対がん10か年総合戦略（～平成5年）
- 平成6年 がん克服新10か年戦略（～平成15年）
- 平成16年 第3次対がん10か年総合戦略（～平成25年）
- 平成17年5月 がん対策推進本部 設置(厚生労働省)
- 平成18年4月 がん対策推進室 設置(厚生労働省健康局)
- 平成18年6月 がん対策基本法 成立
- 平成18年10月 がん対策情報センター開設
- 平成19年4月 がん対策基本法 施行
- 平成19年6月 がん対策推進協議会 設置
- 平成24年6月 がん対策推進基本計画(第1期)策定(閣議決定)
- 平成25年12月 がん対策推進基本計画(第2期)策定(閣議決定)
- 平成26年 がん登録等の推進に関する法律の成立
- 平成28年1月 がん研究10か年戦略の策定（～平成35年度）
- 平成28年12月 全国がん登録の開始
- 平成29年8月 がん対策基本法 改正
- 平成29年8月 がん対策推進基本計画(第3期)策定(予定)

「がん教育」の在り方に関する検討会

「学校におけるがん教育の在り方について(報告)」2015年3月



がん教育の目標

①がんについて正しく理解することができるようになる
 がんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診等について関心を持ち、正しい知識を身に付け、適切に対処できる実践力を育成する。また、がんを通じて様々な病気について理解を深め、健康の保持増進に資する。

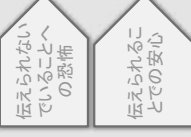
②健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする
 がんについて学ぶことや、がんと向き合う人々と触れ合うことを通じて、自他の健康と命の大切さに気づき、自己の在り方や生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指す態度を育成する。

がん教育を実施することによってどのような人に・どのような影響が予想されるでしょうか？

どのような人	どのような影響	影響の種類 (+/-)

その1. 身内のがん患者のいる児童 がんが家族を亡くした児童

- 米国：1年間140万人の新規がん患者数のうち25%に18歳以下の子供がいる（推定）
 - 「私が何をしちゃったからこうなったんだろう？」
 - 「私にもがんがうつるのかなあ？」
 - 「これから私はどうなっちゃうんだろう？」
- 3つのC：伝えること
 - それはCancer（がん）という病気。
 - それはCatching（伝染）しない。
 - そのCaused（原因）は、あなたや私がこれまでしてきたことも、しなかったことも、まったく関係ない。



その2. 小児がん患児

- 年間患者数 2,000～2,500(全国推計)
- 治療による合併症
- 成長発達期の治療
- 少ない情報(治療・医療機関)
- 〇〇県病院内教育研究会
(院内学級の例)〇〇県立〇〇特別支援学校
〇〇市立〇〇小学校〇〇学級
- がんの子どもの教育支援に関するガイドライン※
 - 診断時
 - 入院中
 - 復学後
 - ターミナル

小児がん患児自身の教育・自立
家族に向けた長期的支援や配慮

心理社会的な問題への対応
セカンドオピニオン



※がんの子どもを守る会、がんの子どもの教育支援に関するガイドライン、2002。http://www.ccaj-found.or.jp/

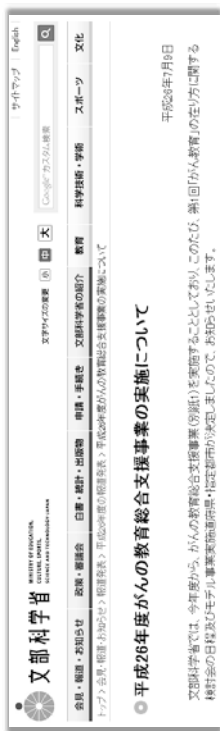
配慮が必要な事項

「文部科学省 外部講師を用いたがん教育ガイドライン 平成28年4月」より

- 小児がんの当事者、小児がんにかかったことのある児童生徒がいる場合。
- 家族にがん患者がいる児童生徒や、家族ががんで亡くした児童生徒がいる場合。
- 生活習慣が主な原因とならないがんもあり、特に、これらのがん患者が身近にいる場合。
- がんに限らず、重病・難病等にかかったことのある児童生徒や、家族に該当患者がいたり家族を亡くしたりした児童生徒がいる場合。

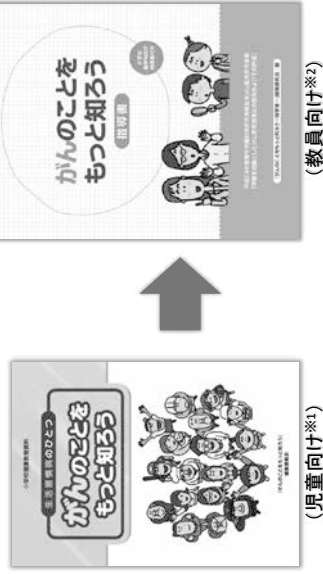
※緑色は、研究班による健康影響予測評価の見解と同一のもの。

教員の負担軽減策



- (2) モデル事業の実施
 - 全国21か所の道府県・指定都市において、学校における「がん教育」の取組を推進するとともに、教育委員会等によるがんの教育用教材の作成・配布、専門医等の講師派遣、研修会等を行う。

教員を支援するための取組み 厚生労働省研究班



※1) 厚生労働省がん研究助成金「がん情報ネットワークを利用した総合的がん対策支援とその評価の具体的方法に関する研究」研究代表者 石川ベンジャミン(平成20～22年度)分担研究 教育機関及び家庭におけるがんの知識の普及に関する研究(研究分担者 片野田耕太)

※2) 厚生労働省研究班補助金「がん臨床研究事業「学童を対象としたがん教育指導法の開発およびその評価」」研究代表者 助友裕子(平成24～25年度)

がん教育の先進事例(1)映像型 東京都豊島区教育委員会

がんとはどんな病気？

いま、日本人の2人に1人が、一生のうちにかんになるといわれています。

日常生活習慣の改善

クイズにチャレンジ

- 第1問 がんを予防するが、がんの予防のために自分は何ができる？
- 第2問 1.自分ができること
- 第3問 2.家の人に対してできること
- 第4問
- 第5問

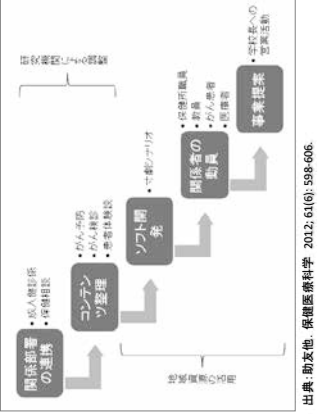
がんになったことのある方のお話



考えてみましょう！
もしも、身重さんががんになったら、その人のために、自分ができることをしてあげられるでしょうか？

豊島区 がんに関する教育 がんのことをもっと知ろう

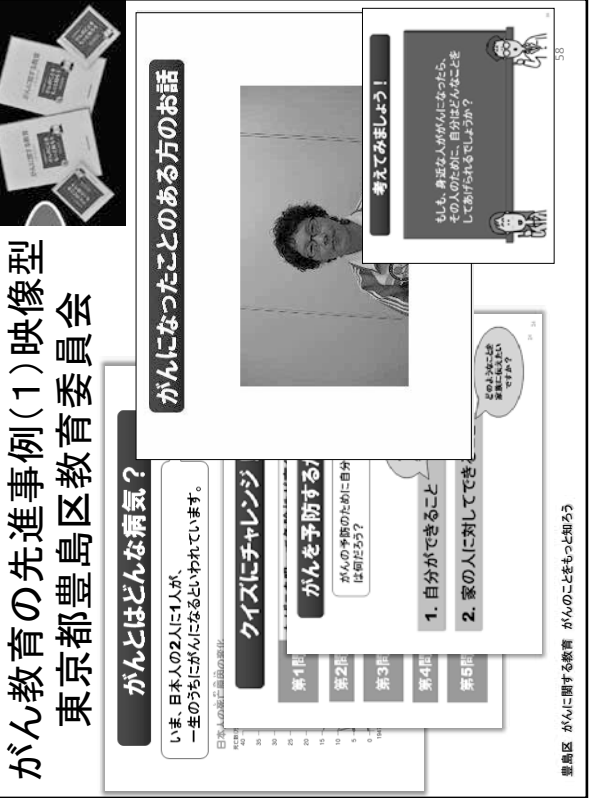
がん教育の先進事例(2)ゲストスピーカー型 東京都荒川区保健所健康推進課



出典: 助産師 保健師 2012; 61(6): 598-606



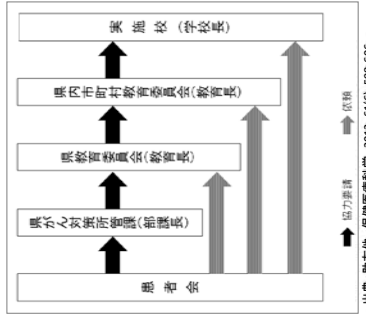
- 第一編
- ① 保健所職員「荒川家の人々」による寸劇
 - ② 研究者「あら博士」による解説(統計・検診)
 - ③ 教員「栄養士」による解説(予防)
- 第二編
- ④ がん患者による体験談



がん情報サービス

がん情報サービス (ganjoho.jp) 一般の方向けサイト

がん教育の先進事例(3)当事者出前型 NPO法人がんサポートかごしま (がん患者会によるいのちの授業)



出典: 助産師 保健師 2012; 61(6): 598-606



(写真) 三好 結、いのちの授業一子どもたちに伝えること、厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業「学重を対象としたがん教育指導法の開発およびその評価」班会議資料、2012年6月14日、より

(参考) 埼玉県内のがん患者会

埼玉県ホームページ

健康教育の位置づけの見直しを

- ◆ 学生が病院実習でホスピスの患者さんに生活習慣病の患者さんと同じように接していた、と指摘があり、あわせてゲストスピーカーの先生をお招きし、先日、授業でホスピス患者の心理について講話をいただいた。話を聞き、私は健康的な生活習慣を目指す栄養教育が学生に教えていかなかったのではないかと反省した。
- ◆ 学校・地域・地域いづれにしても、不健康な生活習慣からくる疾患を予防するための健康教育が主流である。しかし、人間誰しも死を迎えることを考えると、年々若くなることや病気になることを忌み嫌うのではなく、受け入れることも健康教育に含まれるのではないかと思う。我が国においても、「死の準備教育」の必要性が問われているが、健康教育とは切り離されたところに位置づけられている気がする。……(中略)……体重を減らしたり、検査数値を改善したりすることだけにとらわれない支援も健康教育として考えていく必要があるだろう。(赤松、日本健康教育学会誌 2011; 19(1))

68

ヘルスプロモーターの役割を担う児童を育てる指導の工夫

体育科(保健分野)「病気の予防」他 (埼玉大学教育学部附属小学校6年生)

教科※	時	中単元	指導計画	がんの教育※
保健	1	病気の起こり方	追跡！病気の原因	★
保健	2	病原体がもたらすおこる病気の予防	進め！ウイルス・バスターズ	★
保健	3	喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	どうしてダメなの？お酒とたばこ	★
保健	4	知らず 薬物の恐ろしさ	知らず 薬物の恐ろしさ	★
保健	5	生活行動がかかわって起こる病気の予防	生活習慣にひそむ病気	★
総合	8		がん患者による体談	がん統計・発生の生活習慣 ケア・がん患者の生活
保健	9	地域の様々な保健活動	目指せ！ヘルスプロモーター	がん検診
総合	10		健康プレゼントの提案	★

※ 保健：体育(保健) 総合：総合的な学習の時間 ★：適宜触れる程度

久保田、第80回小学校教育研究協議会 2012

70

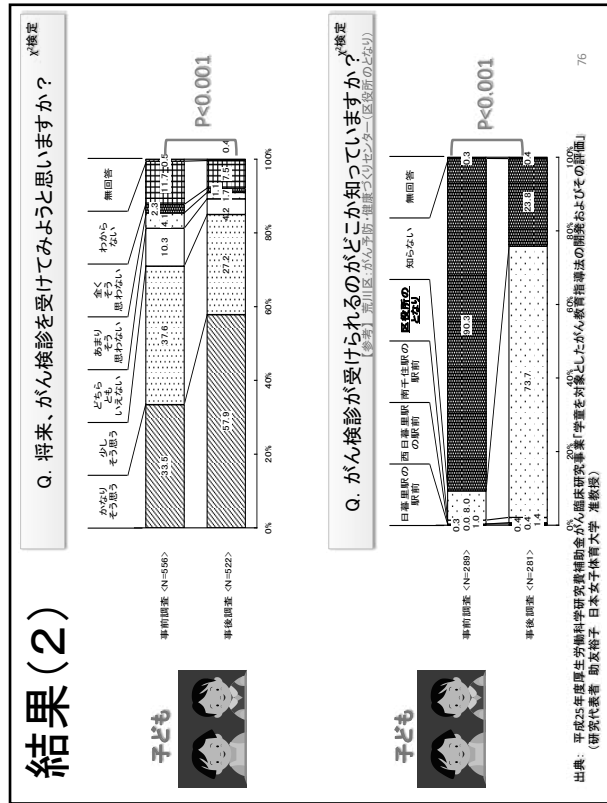
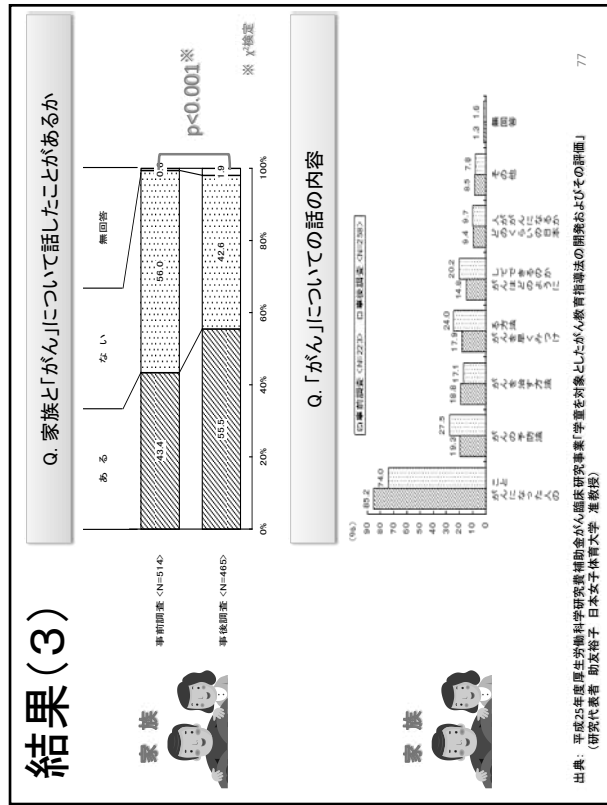
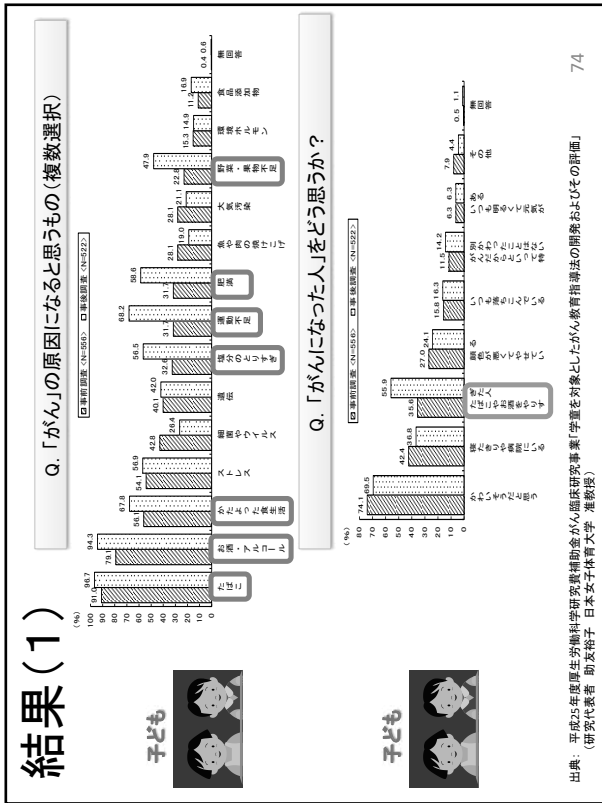
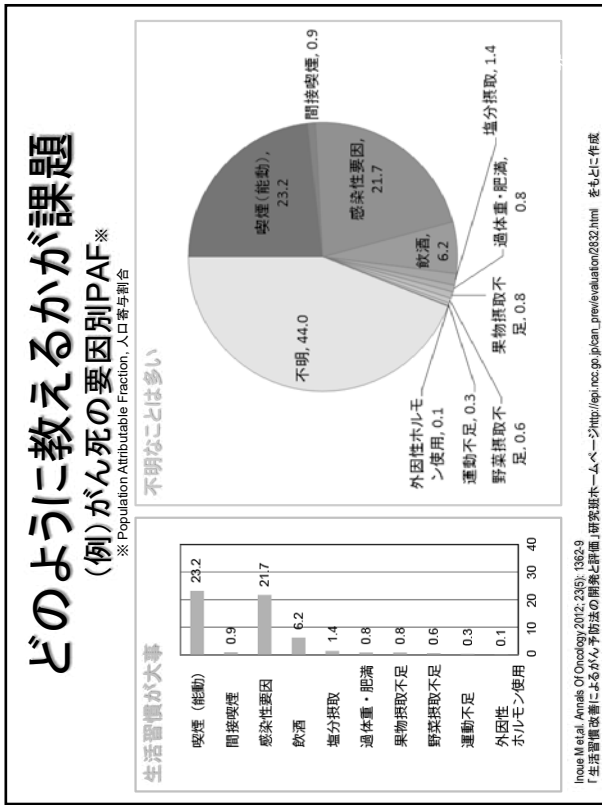
がんの授業の評価

授業者	位置づけ	A区内小学校 (5校)	B区内小学校 (4校)	C市内中学校 (1校)	D県内高等学校 (1校)	E県内特別支援学校 (1校)
		6学年担任 保健所職員 体育科(保健分野) 総合的な学習の時間	6学年担任 養護教諭 体育科(保健分野)	保健体育科 がん経験者 保健体育科(保健分野) 道徳	保健体育科 保健体育科 保健体育科(科目保健)	保健体育科 保健体育科 保健体育科(科目保健)
予防 検診 医療 患者体験	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
指導方法	保健所による 出前授業	保健所による 教科指導	教科による 教科指導/外部講師による 講話	教科による 教科指導/外部講師による 講話	教科による 教科指導/外部講師による 講話	教科による 教科指導/外部講師による 講話

出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金がん臨床研究事業「学童を対象としたがん教育指導法の開発およびその評価」

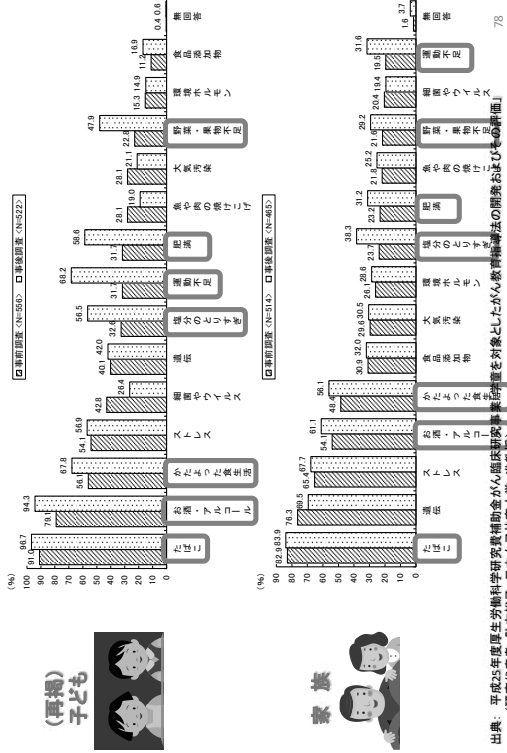
久保田、(研究代表者 勲友裕子 日本女子体育大学 准教授)

73

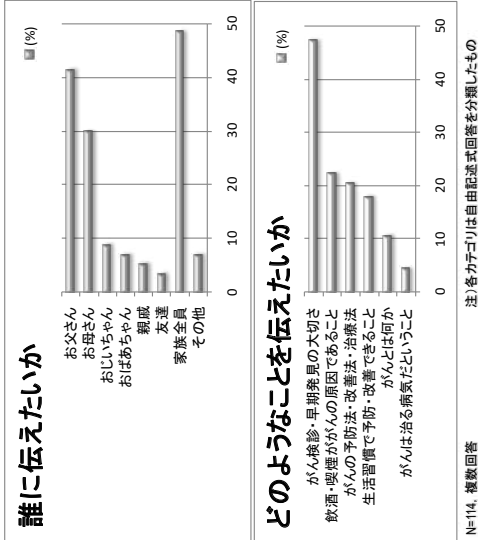


結果(4)

Q.「がん」の原因になると思うもの(複数選択)



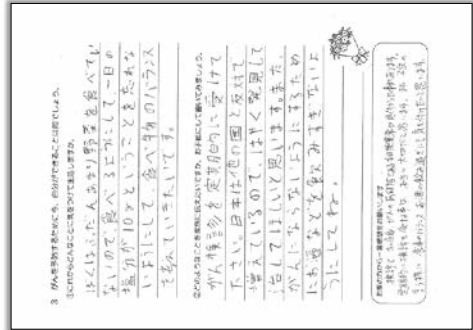
がん教育の効果＝思考力・判断力



注)各カテゴリは自由記述式回答を分類したもの

N=114, 複数回答

がん教育の効果：思考力・判断力・表現力



東京都内公立特別支援学校高等部
生徒の作成したポスター

豊島区内公立小学校
児童のワークシート

まとめ

- がん教育の背景「なぜ？」
 - 国民の2人に1人
 - 厚生労働行政から文部科学行政へ(次期学習指導要領)
- がん教育の推進方法「どのように？」
 - カリキュラムマネジメント(保健+α)
 - ティームティーチング
 - 外部講師の活用(保健行政、がん専門機関、患者)
 - 地域の独自性(がん対策＝環境づくり)

Ⅲ 平成29年度 埼玉県がん教育授業研究会 1 ときがわ町立玉川小学校

文部科学省委託事業「がんの教育総合支援事業」

平成29年度埼玉県「がん教育」授業研究会(小学校)実施要項

1 趣 旨

日本人の死亡原因として最も多いがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分であり課題であると指摘されている。

この課題解決のためには、児童生徒が学校教育を通じてがんについて学ぶことにより、健康に対する関心を持ち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるように指導することが必要である。

そこで、学校におけるがんに関する指導の充実を図るため、発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 平成29年11月28日(火)

4 会 場 ときがわ町立玉川小学校 比企郡ときがわ町玉川2666

* 駐車場：ときがわ町役場本庁舎北側駐車場

* JR八高線 「明覚駅」よりバス3分「役場本庁舎」下車 徒歩4分

* 東武東上線 「嵐山駅」よりバス15分「役場本庁舎」下車 徒歩4分

5 参加者対象 小学校教職員(体育科、養護教諭、保健主事等)及び指導主事

6 日 程

(1) 受 付 12時55分～ (体育館)

(2) 全体会 13時15分～13時35分 (体育館)

(3) 公開授業 13時45分～14時30分 (体育館)

(4) 研究協議 14時50分～16時20分 (体育館)

7 公開授業

学年	授業者	単 元 名
6年	能仲 和歌子 教諭	体育科(保健領域) (3)「病気の予防」

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	課 長	加藤 健次
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	武田 直美
埼玉県教育局西部教育事務所	指 導 主 事	栗原 智靖
ときがわ町教育委員会学校教育総務課	主任指導主事	羽太 高裕

埼玉県がん教育授業検討委員会委員

埼玉大学教育学部	准 教 授	七木田文彦
埼玉医科大学総合医療センター	准 教 授	儀賀 理暁
鴻巣市立鴻巣南小学校	教 諭	堀 祐介
久喜市立菖蒲中学校	養 護 教 諭	永島 志乃